

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
ビジネス	2 単位 現代経済	経済思想史	永田 長生	2 年次	春

授業のキーワード	経済学の歴史、経済のとらえ方、経済学を築いた偉人たちの業績
授業の概要・目的 及び修得させる知識・技能	この授業では、経済のとらえ方・考え方がどのように変遷してきたのかを、経済学における偉人たちを取り上げることによって、それぞれの時代背景も踏まえながら解説します。
履修のアドバイス・ 前提科目等	ミクロ経済学Ⅰを履修済みであるか同時履修すると、より理解が深まると思います。また、マクロ経済学Ⅰも履修済みであることが望ましいですが、これらの科目を履修していなくても、この授業の履修を妨げるものではありません。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	イントロダクション	なぜ経済学の歴史や思想を学ぶのかについて解説します。	第 9 講	ワルラス／ジェボンズ／メンガー	現代のミクロ経済理論の基礎を作り上げたワルラス、ジェボンズ、メンガーについて解説します。
第 2 講	アダム・スミス以前の経済学	現代経済学の礎を築いたアダム・スミス以前は、経済がどのようにとらえられていたのかを解説します。	第 10 講	マーシャル	入門レベルのミクロ経済理論を完成させたマーシャルとその業績について解説します。
第 3 講	アダム・スミス	経済学の祖と言われるアダム・スミスとその業績について解説します。	第 11 講	マックス・ヴェーバー	宗教という視点から経済を捉えようとしたヴェーバーとその業績について解説します。
第 4 講	リカード	国際貿易理論に多大な影響を与えたリカードとその理論について解説します。	第 12 講	ケインズ	入門レベルのマクロ経済理論の礎を築いたケインズとその業績について解説します。
第 5 講	マルサス／リスト	リカードの考え方と対照的なマルサスとリストについて、その内容を解説します。	第 13 講	シュンペーター	経済発展の諸問題を考察したシュンペーターとその業績について解説します。
第 6 講	マルクス	独自の視点から経済を捉えようとしたマルクスとその理論について解説します。	第 14 講	総括	この授業で解説した内容の総括を行います。
第 7 講	マルクス	第 6 講の続きです。	第 15 講	期末試験	実施形態および出題形式については第 1 回の講義の際に説明します。
第 8 講	クールノー	経済学に初めて数学を導入し、寡占理論において多大な貢献をしたクールノーについて解説します。	評 価 方 法		小テストおよび平常点と期末試験の点数によって評価します。その比率については、履修者数によって決定することになります。
備 考 (関連する資格・試験等)		経済学をより深く学びたい学生や経済学部への編入を考えている学生は、この授業を履修するとよいでしょう。			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
とくに使用しません。適宜プリントを配布します。			井上義明『コア・テキスト 経済学史』、新世社、2004年。 大田一廣・鈴木信雄・高哲男・八木紀一郎編『新版 経済思想史』、名古屋大学出版会、2006年。 その他の参考文献は、授業中に紹介していきます。		